

あとがき

世の中に教育界ほど保守的な世界はないでせう。昭和28年、指導主事を辞めて小学校教師になり、石井方式の勝れて効果がある事を実証し、これを東京都教育委員会の機関誌“教育時報”に発表したときには、直ぐにも石井方式が教育界に受け入れられるだらうと思ってゐました。ところが、その後の数年間、全く何の反応もありませんでした。この教育が文部省の学習指導要領に違反してゐるからだといふのです。「どんなに教育効果が大きからうと、学習指導要領に違反するものは実践できない」といふわけです。こんな馬鹿げた事は教育界以外では考えられないと思ひます。

昭和37年8月、小金井の浴恩館で開催された全国師友協会の夏期講習会の講師として安岡正篤先生からお招きを受け、石井方式について発表する機会を得ました。

このとき、文化勲章を受賞されたばかりの岡潔先生が、私の次の講演者であった荒本文部大臣に会見する為に来会されてゐて、たまたま二時間に亘る私の発表を終始お聴き下さるといふ機会に恵まれました。大臣と会談を終へた岡先生を「ホテルまでお送りしては？」という安岡先生のお言葉に、私は喜び勇んで岡先生の脇に座り、ホテルまでお送りしました。ホテルに至るまでの教十分間、私はこの機会とばかり先生に質問し、また、石井方式の御批判を仰ぎました。先生は「研究方法が科学的であり、整つてゐて、結論は十分に信頼出来る」

と仰って、「漢字教育は、あらゆる教育の基礎中の基礎です。小学校においては、数学など少々遅れても、漢字の教育だけはしっかりとやらなければいけません」、そして最後に「漢字は心の珠を磨く道具です」と仰って私を励まして下さいました。

「漢字は心の珠を磨く道具である」とは何といふ素晴らしい言葉でせう。こんなに見事に真理を突いた、しかも美しい言葉はないと思ひます。私は、このときの様子が今でも昨日の事のやうに鮮やかに思ひ浮かべられます。当時、岡先生は、世界の数学史上に名を連ねる偉大な数学者でした。その先生が「数学は少々遅れても、漢字の教育だけはしっかりとやらなければいけない」「漢字は心の珠を磨く道具である」と仰るのだから「私の主張は決して我田引水ではない。これからは胸を張って漢字の大切さを世に訴へて行く事が出来る」と、白信がもてるやうになったものです。

かうして、安岡正篤、岡潔の両先生に続いて、大岡昇平、福田恆存、時実利彦、木内信胤、井深大、鈴木鎮一の先生方が、亡くなられるまで石井方式を支援して下さいました。宇野精一、大野晋、藤永保、多湖輝などの先生方は、30年以上、40年に亘って、今もなほ応援して下さいます。この様に、我が国の第一流の先生方が応接して下さい来たのにも拘わらず「文部省の学習指導要領と違ふ」といふだけの理由で、この効果の大きい教育を試してみようもしない教育者が多い教育界といふ所は、全く不可解な世界です。

ぜひ、本書に登場される幼稚園の先生方やお母様方の様に、実

践を通してこの教育の素晴らしさを体験され、周囲の人々にもこれを
奨めようと努力して下さる方々が年ごとに増えてゐます ドーマン博
士のあれほど素晴らしい教育法が、道路一つ隔てた小学校にも伝は
らない事実を嘆いたドーマン博士が「画期的な新しい提案といふもの
は、その提案者の生存中は世に受け入れられる事がないものである。
石井方式教育法がこれほど日本に広まってゐる事はまことにうらやま
しい事である」と、かつて私に語った事を思ひ出し、幸せだと思ひま
す。最後にコスモトゥーワンの山崎優氏のお奨めによって、今までに
無い、多くの方々に成る本書が刊行できる事を感謝いたします。

平成 12 年 9 月

石井 勲

本書は、平成 12 年、弊社より刊行された『幼児は「漢字」で天
才になる』の一部内容を訂正し、改題したものです。

改訂版 頭がいい親の3歳からの子育て

2000年11月15日 第1刷発行
2007年6月20日 改訂版 第1刷発行

著 者——石井 勲

発行人——杉山 隆

発行所——株式会社コスモトゥーワン
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-39-6-8F
☎03(3988)3911
FAX 03(3988)7062
URL <http://www.cos21.com>

印刷・製本——中央精版印刷株式会社

落丁本・乱丁本は本社でお取替えいたします

©Isao Ishii 2007, Printed in Japan

定価はカバーに表示してあります。
ISBN978-4-87795-119-1 C0037